



令和6年3月1日(金) から7日(木) 春季全国火災予防運動を実施します!

予防課

【春季全国火災予防運動】

消防庁では、「火を消して 不安を消して つなぐ未来」を2023年度全国統一防火標語とし「春季全国火災予防運動」を実施します。

防止対策をまとめた「住宅防火 いのちを守る 10のポイント～4つの習慣・6つの対策～」を参考に身の回りの火災予防対策を確認しましょう。



春季全国火災予防運動ポスター



全国統一防火標語ポスター

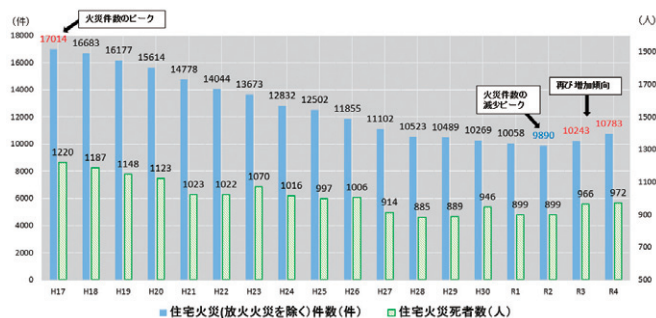
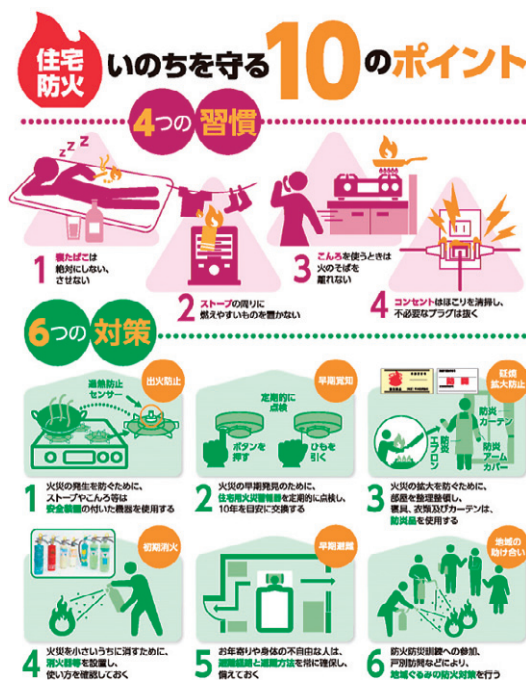
この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的として、3月1日から「消防記念日」である3月7日（一部地域を除く。）の間、毎年実施されているものです。

全国の火災の状況を見ると、住宅火災の件数は平成17年以降減少し、令和2年に初めて1万件/年を下回ったものの、令和3年及び4年は再び増加傾向にあります。年明け以降も、複数の死傷者を伴う火災が各地で発生する状況にあります。東京消防庁の例では、本年1月1日から15日までに管内で発生した住宅火災による死者数は、過去10年間で最多ペースで増加しています。

また、春の行楽シーズンを迎え山に入る人が増加するとともに、農作業のため枯草焼きなどが行われることにより、火の不始末や火の粉が山林に飛び火することなどにより、林野火災が増える傾向にあります。既に令和6年1月13日に広島県江田島市では、約240ヘクタールの林野が焼失する大規模な火災が発生したところです。

こうした全国の火災や最近の災害の状況を踏まえ、今回の運動では「住宅防火対策の推進」「林野火災予防対策の推進」を最重点項目に定め、火災対策の推進を図ります。

火災による被害を軽減するためには、一人ひとりが普段の生活のなかで防火に対する意識を高め、火災予防の対策を行うことが重要です。住宅火災による死者の発生



住宅火災の件数は減少傾向にあったが、令和3年度から増加傾向に転じた。

死者数のピークは平成17年で、放火自殺者等を除いた死者数は、H17：1220人→R4：972人で約20%減であるが、900人を超える高水準で推移。

問合せ先

消防庁予防課予防係 泉、村松
TEL: 03-5253-7523